



脚本 小野登志子  
作曲 朝岡真木子

2022年 12月3日(土) 18:00~(開場 17:30)

12月4日(日) 14:00~(開場 13:30)

韭山時代劇場 大ホール入場料 一席 2,000 円

主催 伊豆市民オペラ協会

後援



公益社団法人日本演奏連盟 江川英龍公を広める会

伊豆日日新聞

FMいづのくに

入場券取扱

江川邸



伊豆市民オペラ協会

OPERA通信

葦山代官 江川太郎左衛門

## オペラ「坦庵」～熱き心の火～

2022年12月3日（土）18:00～

4日（日）14:00～

於 葦山時代劇場

上記、公演に向け団員募集中です。名代官「江川太郎左衛門」の半生と反射炉築造への  
「熱き心」を歌い届けます。合唱の声を響かせて、感動あるオペラを一緒に創りませんか。

### オペラ「坦庵」 脚本：小野登志子

若き日の坦庵（たんなん）江川邦次郎は葦山代官江戸役所で見習をするかたわら、岡田道場で兄弟子斎藤弥九郎の胸を借りて剣術の稽古に励んでいました。兄の急死後、葦山に戻り、旗本北条氏征の娘と祝言を挙げ、12年後代官に就任しました。

江戸で尚歯会の仲間たちと蘭学の研究に励むと、目の前には新しい世界が広がります。坦庵は幕閣に建議書を出しますが、なかなか採用されませんでした。それどころか、目付の鳥居耀蔵の反感を買ってしまい、尚歯会は弾圧を受け、渡辺華山は獄中に…江戸を去る坦庵の心は重くなっています。

その頃、日本には外国船が現れ開国を迫っていました。清国ではアヘン戦争も勃発、侵略に対するには武力も整えなければならない…。坦庵は長崎の高島秋帆に砲術の手ほどきを受けた。国防を考え、日夜、反射炉の研究を重ねました。農兵を組織し、携行食のパンを焼き上げることにも成功しました。学者を召し抱えることには金を惜しまない坦庵でしたが、妻の柔は儉約生活によく耐えていました。

いよいよ黒船がやってきます。幕府は坦庵を要職に取り上げようとしますが、すでに坦庵の身体は病に冒されていました。反射炉の完成を前に坦庵は…。

反射炉の築造は、柏木総蔵と江川英敏に受け継がれて完成し、火が入った。その火は坦庵の熱き心の火。そして日本の未来に繋がる火となつたのです。

#### 伊豆市民オペラ協会 小史

|         |  |
|---------|--|
| 1999・9  | 伊豆市民オペラ協会設立                                      |
| 2000・11 | 「頼朝」   |
| 2001・1  | 「坦庵 熱き心の火」 初演                                    |
| 2005・7  | 伊豆の国市誕生記念オペラ「頼朝」                                 |
| 2006・12 | 「夫の宝物」「ラ、ボエーム」                                   |
| 2009・10 | 第24回国民文化祭「坦庵 熱き心の火」                              |
| 2011・11 | 「三百年姫」   |
| 2013・9  | 坦庵フェア2013 「坦庵」ハイライト                              |
| 2014・11 | 「坦庵 熱き心の火」 三島公演<br>11「坦庵」伊豆の国市中学生鑑賞教室<br>伊豆の国市公演 |
| 2015・8  | 祝葦山反射炉世界遺産登録記念<br>「坦庵 熱き心の火」                     |
| 2016・11 | 「坦庵」伊東高校公演(伊東市観光会館)                              |
| 2017・9  | 「坦庵」モンゴル公演(モンゴル国立歌劇場)                            |
| 2018・11 | 「坦庵」葦山反射炉世界遺産登録3周年記念<br>伊豆の国市中学生鑑賞教室             |
| 2019・3  | 「三百年姫」イタリア公演(ミラノ)<br>コンサート(サンセバスチャン教会・ピエッラ)      |
| 2019・9  | 「三百年姫」伊豆市民オペラ協会20周年記念                            |

#### エキストラ募集 練習

毎週 金曜日 19:30～21:00

場所 葦山時代劇場 リハーサル室

いつでも、見学にいらしてください。

連絡先

Tel・Fax 055-949-1803 (久木野)